

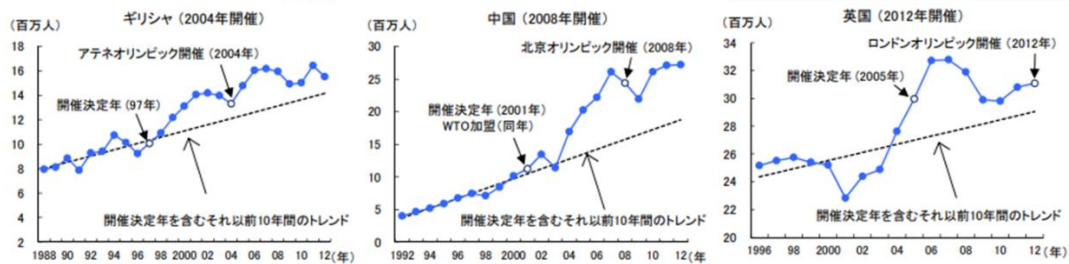
インバウンドコラム

2020 東京オリンピックにむけて

経済効果 30 兆円規模 ラグビーワールドカップの経験を活かす

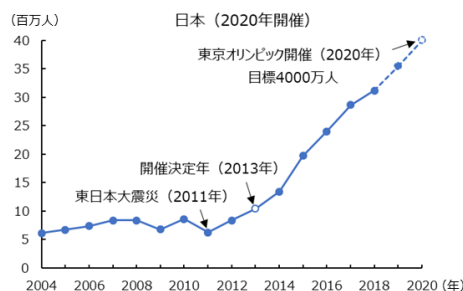
2013 年 9 月に IOC 総会で東京が第 32 回夏季オリンピック開催都市に選ばれたあと、2014 年 12 月に発表されたみずほ総合研究による、2020 東京オリンピック開催の経済効果試算では、30 兆円規模に上ると予測されています。過去のオリンピック開催国の多くでは、開催決定年以降、インバウンド観光客数が、それ以前のトレンドを上回って増加する傾向がみられます。(参照※1、グラフ a)日本も、このレポート当時 2020 年目標としていた 2,000 万人を翌年 2015 年には 1973 万人と早くもほぼ達成し、2020 年目標は 4,000 万人に引き上げられました。2019 年の年間訪日外国人数は、今年 1 月の JTB 予測では前年比 12.3%増の 3,550 万人ですが、夏以降韓国市場の大幅減速で下振れが予想されます。(参照※2、※3、グラフ b)

グラフa オリンピック前後のインバウンド観光客数 ギリシャ・中国・英国



出典元：みずほレポート

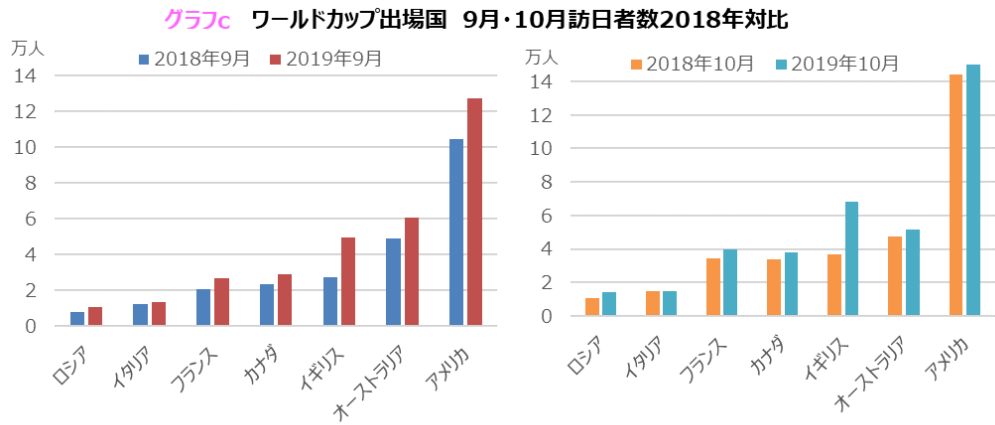
グラフb 訪日外国人数 2004年～2020年目標



出典元：JNTO・JTBデータをもとにAUN作成

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会(ラグビーW 杯)の開催により、ラグビーW 杯出場国が含まれる欧米豪市場の訪日外客数は、前年同月に比べ 9 月は 7 万 7 千人、10 月は 8 万 1 千人増えました。なかでも英国は、9 月は同比 84.4%増の 49,600 人、10 月も同比 85.6%増の 68,400 人と大幅な伸びを見せました。また、ラグビーW 杯に加えて、ファーウェイ問題などで中国との関係が冷え込むカナダも 9 月、同比 23.4%増の 28,500 人、10 月、同比 11.7%増の 37,700 人と二桁成長をみせました。(参照※2、グラフ c)20 チームが出場したラグビーW 杯 2019。2020 東京オ

オリンピックでは 205 の国と地域の参加が予定されています。ホスト国として高い評価を受けたラグビーW 杯での経験を生かし、2020 オリンピックで世界中から訪れる訪日客を迎える準備を整えましょう。



出典元：JNTOデータをもとにAUN作成

※1 みずほレポート 2014年12月14日

<https://www.mizuho-ri.co.jp/publication/research/pdf/report/report14-1210.pdf>

※2 訪日外客数 | 日本政府観光局(JNTO)

https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/

※3 2019年の旅行予測 - JTB 総合研究所

<https://www.tourism.jp/tourism-database/column/2019/01/tourism-forecast-2019/>